

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士科(昼間部)		科 目 区 分	その他	授業の方法	演 習
科 目 名	臨床工学の基礎演習Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	片桐 伸将	実務経験とその関連資格	博士(工学), 職業訓練指導員免許(メカトロニクス等), 10年以上国立循環器病研究センター研究所にて医療機器の研究開発および1～5回/年程度の国内外学会発表(片桐)			
《授業科目における学習内容》						
第2種ME技術実力検定試験および臨床工学技士国家試験の広範囲にわたる各分野について, 過去問を題材とした概要の講義, 問題解説, 小試験を繰り返し行うことで, 試験合格に必要な実力を身に付ける。						
《成績評価の方法と基準》						
課題達成度と小試験70%、出席評価点20%、平常評価点10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書なし, スライド資料, 過去問資料当日配布						
《授業外における学習方法》						
臨床工学技士の国家試験や第2種ME技術実力検定試験で出題される各分野について, 講義や演習内容の復習と過去問の解説をまとめる。						
《履修に当たっての留意点》						
配布資料の過去問の正解の内容みならず, 正しい記述がある内容は全てチェックし, 空欄に解説の要点をメモしていくこと。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	総合演習を通して理工系科目の概要を理解する。		配布資料	・シラバスを読み、授業内容についてしらべておく
		各コマにおける授業予定	物理学・医用電気工学・医用電子工学・情報処理工学・医用機械工学・生体物性工学・医用材料工学に関する過去問演習の実施と解説。			
第2回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	総合演習を通して理工系科目の概要を理解する。		配布資料	・授業内容について調べておく ・配布されたプリントをもとに復習
		各コマにおける授業予定	物理学・医用電気工学・医用電子工学・情報処理工学・医用機械工学・生体物性工学・医用材料工学に関する過去問演習の実施と解説。			
第3回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	総合演習を通して理工系科目の概要を理解する。		配布資料	・授業内容について調べておく ・配布されたプリントをもとに復習
		各コマにおける授業予定	物理学・医用電気工学・医用電子工学・情報処理工学・医用機械工学・生体物性工学・医用材料工学に関する過去問演習の実施と解説。			
第4回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	総合演習を通して理工系科目の概要を理解する。		配布資料	・授業内容について調べておく ・配布されたプリントをもとに復習
		各コマにおける授業予定	物理学・医用電気工学・医用電子工学・情報処理工学・医用機械工学・生体物性工学・医用材料工学に関する過去問演習の実施と解説。			
第5回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	総合演習を通して医学系科目の概要を理解する。		配布資料	・授業内容について調べておく ・配布されたプリントをもとに復習
		各コマにおける授業予定	医学総論・公衆衛生学・人体の構造および機能・病理学概論・生体機能代行装置学・医用治療機器学・生体計測装置学・医用機器安全管理学に関する実習と過去問演習の実施と解説。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	総合演習を通して医学系科目の概要を理解する。	配布資料	・授業内容について調べておく ・配布されたプリントをもとに復習
		各コマにおける授業予定	医学総論・公衆衛生学・人体の構造および機能・病理学概論・生体機能代行装置学・医用治療機器学・生体計測装置学・医用機器安全管理学に関する実習と過去問演習の実施と解説。		
第7回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	総合演習を通して医学系科目の概要を理解する。	配布資料	・授業内容について調べておく ・配布されたプリントをもとに復習
		各コマにおける授業予定	医学総論・公衆衛生学・人体の構造および機能・病理学概論・生体機能代行装置学・医用治療機器学・生体計測装置学・医用機器安全管理学に関する実習と過去問演習の実施と解説。		
第8回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	総合演習を通して医学系科目の概要を理解する。	配布資料	・授業内容について調べておく ・配布されたプリントをもとに復習
		各コマにおける授業予定	医学総論・公衆衛生学・人体の構造および機能・病理学概論・生体機能代行装置学・医用治療機器学・生体計測装置学・医用機器安全管理学に関する実習と過去問演習の実施と解説。		
第9回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	総合演習を通して理工系科目の概要を理解する。	配布資料	・授業内容について調べておく ・配布されたプリントをもとに復習
		各コマにおける授業予定	物理学・医用電気工学・医用電子工学・情報処理工学・医用機械工学・生体物性工学・医用材料工学に関する過去問演習の実施と解説。		
第10回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	総合演習を通して理工系科目の概要を理解する。	配布資料	・授業内容について調べておく ・配布されたプリントをもとに復習
		各コマにおける授業予定	物理学・医用電気工学・医用電子工学・情報処理工学・医用機械工学・生体物性工学・医用材料工学に関する過去問演習の実施と解説。		
第11回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	総合演習を通して理工系科目の概要を理解する。	配布資料	・授業内容について調べておく ・配布されたプリントをもとに復習
		各コマにおける授業予定	物理学・医用電気工学・医用電子工学・情報処理工学・医用機械工学・生体物性工学・医用材料工学に関する過去問演習の実施と解説。		
第12回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	総合演習を通して理工系科目の概要を理解する。	配布資料	・授業内容について調べておく ・配布されたプリントをもとに復習
		各コマにおける授業予定	物理学・医用電気工学・医用電子工学・情報処理工学・医用機械工学・生体物性工学・医用材料工学に関する過去問演習の実施と解説。		
第13回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	総合演習を通して医学系科目の概要を理解する。	配布資料	・授業内容について調べておく ・配布されたプリントをもとに復習
		各コマにおける授業予定	医学総論・公衆衛生学・人体の構造および機能・病理学概論・生体機能代行装置学・医用治療機器学・生体計測装置学・医用機器安全管理学に関する実習と過去問演習の実施と解説。		
第14回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	総合演習を通して医学系科目の概要を理解する。	配布資料	・授業内容について調べておく ・配布されたプリントをもとに復習
		各コマにおける授業予定	医学総論・公衆衛生学・人体の構造および機能・病理学概論・生体機能代行装置学・医用治療機器学・生体計測装置学・医用機器安全管理学に関する実習と過去問演習の実施と解説。		
第15回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	総合演習を通して医学系科目の概要を理解する。	配布資料	・授業内容について調べておく ・配布されたプリントをもとに復習
		各コマにおける授業予定	医学総論・公衆衛生学・人体の構造および機能・病理学概論・生体機能代行装置学・医用治療機器学・生体計測装置学・医用機器安全管理学に関する実習と過去問演習の実施と解説。		